令和 10 年度開校予定 愛別町義務教育学校

明校準備委員会だより 第7号 令和7年10月24日発行 愛別町義務教育学校開校準備委員会

第6回開校準備委員会全体会議 10月7日開催

今回は、前回(6月)以降に開催された4つの部会協議の内容報告、校名の決め方の手順等が主な内容でした。部会報告の概要は、下記の通りです。

<教育課程編成 教務的内容部会からの報告>

○ 学校教育目標や求める児童生徒像については、広くアンケート調査を行った後に、部会協議を進め、全体会議で決定することを考えている。



- 日課表については、視察した上湧別学園の例や各校の事例を参考にしながら現在作成中である。 | コマの授業時間(45分・50分)の運用の仕方についても令和 | 0年度段階での制度改革の情報を見すえながら協議を進めたい。
- 教科担任制については、現在の専科指導や少人数指導の実施時数を下回らないよう に「児童生徒が専門的な教科指導を受けること」を最大の目的として計画したい。

<教育課程編成 生徒指導的内容部会からの報告>

- 「制服・ジャージを指定品とすること」「7年生から着用すること」「上靴は指定品とはせず、現在同様に底面が白またはゴムとすること」を基本に細部を検討している。
- 校内生活のきまりについては、日課表案の策定状況に応じて協議を進める。
- 児童生徒の登下校については、バス用ロータリーや自転車置き場が設計計画に入っているため、その使い方を今後協議する。
- 児童会・生徒会については、 | つの組織にする方向で、協議を進める。
- 部活動については、今後の近隣町との部活動地域展開の協議状況を踏まえて、少年 団の在り方も含めて協議を進める。

<施設・設備・備品部会からの報告>

- 実施設計については、過去4回の要望・回答を経て、10月末に最終段階を迎える。
- 施設の使い方に関する細かなことについては、今後さらに協議を重ねる。
- 今後は、施設の管理運営計画や備品確認と廃棄計画の作成、移転計画の作成を行う。

<PTA部会からの報告>

- 先行事例を通した新しいPTA組織について意見交換をしている。会員数の減少により役員選出の困難さや固定化が予想される愛別町にとって有効な活動方法を模索している。
- 今後は、新しいPTA組織と従来からある地域組織(学校運営協議会や青少年育成協議会等)との関係について協議を深める。

校章や校旗及び校歌の制定に関する協議を進めるためには、学校名を決める必要があります。

今回の全体会議では、町民の皆様に広く校名募集をすることとなりました。

つきましては、下記のように進めてまいりますので、町民の皆様にはご協力を賜ります ようお願い申し上げます。

実施時期:令和7年内(11月~12月にかけての1か月間を予定)

対 象 者:幼小中の幼児・児童生徒、保護者、教職員、町内在住の方

募集内容: ① 愛別町立義務教育学校の学校名

② 愛別町立義務教育学校に求める教育(自由記述)

詳細は、後日各学校・幼児センターや町広報を通じてお知らせする予定です。

あまり例にとらわれていただきたくはないのですが、道内各地の義務教育学校の校名をいくつかご紹介します。お考えいただく際の参考になれば幸いです。

比布町立比布中央学校、富良野市立樹海学校、占冠村立トマム学校
中富良野町立なかふらの学園、湧別町立上湧別学園、湧別町立ゆうべつ学園
湧別町立芭露学園、当別町立とうべつ学園、安平町立早来学園
白糠町立白糠学園、函館市立戸井学園、岩見沢市立くりさわ学舎

■ 名寄市立智恵文小中学校、釧路市立阿寒湖義務教育学校

札幌市立義務教育学校福移学園、帯広市立大空学園義務教育学校

七飯町立**大沼岳陽学校** など

地名や統合前の校名に「学校」や「学園」を付けたもの、親しみやすさを求めひらがな 表記にしたもの、新しい名前にしたもの等さまざまな事例があります。

学校設置者を表す「〇〇立」は「愛別町立」で確定しますので、それに続く名称を募集 することとなります。表記のしかた(漢字・ひらがな・カタカナ等)を含めて募集します。

応募数の多い案に決定するのではなく、開校準備委員会全体会議や愛別町教育委員会議、 愛別町議会での協議を経て決定することになりますので、ご理解くださいますようお願い 申し上げます。町民の皆様にとって愛着の湧く学校名にしたいと考えています。

~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*

新しい学校の校歌について(協議中)

前回の会議から議題として、意見交換を始めています。その中では、経費の面の課題、 作詞・作曲の手順等についていくつかの意見が出ましたが、「統合後の歴史が長い中学校の 校歌が町民になじみがあるのではないか」という意見もありました。

今後の全体会議では、「まったく新しい校歌を作成する」「現在ある校歌をそのまま(あるいは校名を変えて)使う」等の考え方をもとに、協議を進めて参ります。協議の状況は、随時この紙面にてお知らせいたします。

参考までに、愛別小学校と愛別中学校の現在の校歌に関する情報を整理して共有したい と思います。(次ページに掲載)

<現在の愛別小学校 校歌>

○ 作詞:佐藤三好、作曲:藤宮三郎 ← 両名の業績等や作成の経緯は不明です。

= 愛別 集あ峰山 小 永文山歴 清究豊石 介うまなが 久化河史 ふに脈 学 くめけ狩 つまなびいなるる希望に輝く ないはるか できず、くは遠く のき川 校 明 作作 る道沃の 校歌 た 曲詞 たずく に野 や望朝 IJ h 故 伸い広流 日大 藤佐 我伝郷 びそがに 愛身か雪 宮藤 愛等えの 別にげの ゆしり 別み咲 かみぬ 校抱 き 校なく 郎好

<現在の愛別中学校 校歌>

- 作詞:佐佐木信綱、作曲:福井直秋 ← 作成の経緯は不明ですが両名の業績等は下 記の通りです。
- 佐佐木信綱氏は、歌人・国文学者として大きな足跡を残しています。三重県鈴鹿市に「佐佐木信綱記念館」があります。生涯 120 以上の全国各地の校歌を作詞しており、 北海道内は愛別中学校のみです。
- 福井直秋氏は、帝国音楽学校校長・武蔵野音楽大学創設者・初代学長です。初代ラジオ体操第一の作曲者です(現在は使われていません)。北海道内 5 校の小中高の校歌を作曲しています。

愛別 = 中学校校 鐘 楽 豊 北 知研自 吾はくき道 き性鑽治師は常協 く守狩雪明る川山 吾 吾 等 等 鳴 鳴くき道るつ栄は のの のの良高に同 ののる郷はは 愛りどう 愛愛く別別 愛別 愛別 き友 < に **ത** た 母 父 曲詞 中 りの学学は学つ国 たゆ旗 中中学学相 中中学 ひのの とと マま 校校 なもと 校校励 ましう ۲ 校校がびつ ٧ 福佐 なぶり な ら舎 む 井佐 かの 木 IS 直信 秋 綱